

事業所名

幼児教室とことぼけっと

支援プログラム

作成日

令和6年

11月

30日

| | | | | | | |
|-----------|---|---|-----|-------|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | 1. 利用者の尊重 2. 自立支援 3. 安心した生活 4. 地域との連携 | | | | | |
| 支援方針 | 「自分でできることを増やす」をテーマに成長発達を見守り、社会性の芽、自分でやる気、学びの芽を育てていきます。 | | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 30分から | 15時 | 30分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支援内容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康状態の把握と対応、生活リズムの形成、生活に必要な基本的スキルの習得につながるよう支援します。 健康観察カード、自分のマークをつかう、散歩や乾布摩擦で靴や服の着脱をする、使った物を決まったところに片付ける。 (水分補給、身支度、持ち物を管理する、排泄、着脱、身だしなみ、手洗い、うがい、準備、片付けなど) | | | | |
| | 運動・感覚 | 運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な感触や体の感覚、自己表現や創造性の成長を支援します。 身体を大きく動かす遊び、手指を使った遊び、バランス遊び、リズムやタイミングを認識する遊び、触覚・視覚・聴覚を刺激する遊び、自由遊び。 (すべり台、ボルタリング、縄跳び、ブロック、ビーズ、工作、粘土、砂遊び、リトミック、体操、ボール、楽器、絵本など) | | | | |
| | 認知・行動 | 日常の小さな困難や、苦手だと思えることを遊びの中で一緒に練習し「できた」「わかる」につながるよう支援します。 体の部位・音・色・形・数・比較・位置・分類・感情・時間などの形成を図る遊び。 (手遊び、楽器、体操、絵本、カード、ビーズバック、フープ、積み木、ままごと、ボール、時計、砂時計など) | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 「伝えたい」「伝わった」という気持ちを大切にしながら言語とコミュニケーションの成長を支援します。 語彙量を増やす遊び、言葉と意味を結び付ける遊び、対話型の遊び、模倣をする遊び、気持ちを表現する、順番や「話を聞く」がわかる遊び。 (絵本、紙芝居、ペープサート、手遊び、色カード、ごっこ遊び、カルタ、しりとり、文字、文章、当番活動など) | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 遊びの広がりや友だちへの関心を高めながら、みんなと一緒に遊ぶことの楽しさを感じたり自尊心をはぐぐみながら成長を支援します。 大人とのふれあい遊び、模倣遊び、象徴遊び、ルールのある遊び、共同遊び、仲間づくり。 (リズム、ダンス、ままごと、見立て遊び、椅子取りゲーム、猛獣狩りゲーム、お料理体験など) | | | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> 子育ての子育ての困りごとや就園、就学の悩みなどの相談援助を行う。 参観や参加を通して具体的な支援方法を助言、提案する。 保護者会や相談会を開催し保護者同士の交流をする機会を提供する。 | | | | | |
| 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> サポートブックを作成し受け入れ先でも安心して過ごせるよう支援します。 園と連携を図り、支援方法などの共有を行う。 就学支援シートを作成し、本人の強みや特性をお伝えし支援方法の伝達を行う。 | | | | | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが通う園との情報連携や調整、支援方法に関する相談援助を行います。 必要に応じて担当者連絡会議に参加します。 | | | | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 児童発達管理責任者研修 虐待防止、権利擁護研修 BCP(感染、災害)研修 |
| 主な行事等 | <ul style="list-style-type: none"> わくわくタイム(お料理体験)・藍染め体験・親子工作 季節の行事(七夕、お月見、ハロウィン、クリスマス、節分、ひな祭り) ミニシアター | | | | | |